

お知らせ
ふたつ!

岐阜総がかり行動実行委員会 **新代表** 決まる! **11・19 岐阜総がかり行動 に結集を!**

2021年12月、河合良房弁護士が逝去されてから、岐阜総がかり行動実行委員会の代表は空席となっていました（高橋恒美・副代表に代表代行をお願いしていました）。今般、仲松正人弁護士に、新たに代表に就くことをお願いし、ご承諾頂きました。

「11.19 岐阜総がかり行動ー第27弾ー」で、皆さまに挨拶して頂きます。
岐阜総がかり行動実行委員会の新たな出発です。11月19日は万障お繰り合わせの上、清水緑地公園にお集まり下さい。

仲松弁護士には、7月15日には「岐阜総がかり学習会 沖縄に平和の風よ吹け ～再び戦場にさせないために～」の講師を務めて頂き、9月27日には自衛隊岐阜基地周辺の「特別注視区域」指定についての岐阜県への緊急申し入れの際は、土地規制法に詳しい法律家として同行して頂きました。

仲松正人弁護士



東海労働弁護団団長、自由法曹団、2014年度岐阜県弁護士会長、土地規制法の廃止を求める沖縄県民有志の会共同代表、土地規制法対策沖縄弁護団、ドローン規制法対策弁護団長

沖縄11.23平和大集会 連帯スタンディング

11月23日（木・祝） 12:00～（12:45まで）
十六銀行本店前(名鉄岐阜駅前) 歩道

昨年12月の「安保3文書」で、「戦争法」強行成立以来加速してきた「戦争する国づくり」に拍車がかかっています。南西諸島では、与那国、石垣、宮古の島々に限らず沖縄島や奄美、馬毛島に至るまで自衛隊基地が相次いで建設され、ミサイルや弾薬が持ち込まれています。

沖縄では、沖縄を再び戦場にさせてはならないと、多くの市民団体が一堂に会し、老若男女が一体となって、戦争に反対する全県組織『沖縄を再び戦場にさせない県民の会』を立ち上げました。11月23日には、那覇市で大規模な集会「県民平和大集会～対話による信頼こそ平和への道～」を開催し、無謀を極める政府の戦争政策に絶対反対である沖縄県民の思いを、全国に発信していこうと呼びかけています。

私たち「岐阜総がかり行動実行委員会」も、この平和大集会に連帯し、絶対に戦争させない！という私たちの声を大きく上げていきましょう。



主催：戦争させない・9条壊すな！岐阜総がかり行動実行委員会

連絡先：フォーラム岐阜 TEL 058-247-7650（浅野）

